

地域性微生物の分析と資材化技術に基づく農地診断プラットフォームと耐病性苗の開発

事業概要（フェーズ 1）

内容

土壌微生物叢データから病害リスクを推測し、病害リスクに応じた最適な栽培管理プランを提供するプラットフォームを作る。
また、農地土壌に在来の地域性微生物（バイオスティミュラント資材）を植物苗に共生させ、耐病性を増強する資材を開発する。

背景・経緯

近年法人化が進む農産物生産において、特にネギは労働集約型作物であるため、農地管理にかかる労務コスト削減が課題。また農地に合わせた栽培ノウハウの最適化も必要である。
自然災害や病害の対策としては品種改良だけでは追い付かないのが現状である。

狙い、波及効果

農地診断プラットフォームを構築することで、農薬散布の場所、量、タイミングを最適化し、使用量を削減することができる。
農地に棲む微生物を苗の段階から共生させることで環境適応能力やストレス耐性を高めることができる。低コスト&低リスクかつ予防的な病害対策を実現する。

事業化

農地管理アプリおよびバイオスティミュラント資材としての製品化を進める。最終的に、農地のリスク分析から農薬・化学肥料に替わるソリューションまで一気通貫で提供するサービスとして事業化する。

サンリット・シードリング株式会社

本社所在地	京都府京都市左京区吉田上阿達町17番地
設立／資本金	48,965千円
従業員数	12名（2024年8月現在）
事業内容	生態系改良・生物多様性評価・促進に関するコンサルタント事業 生態系分析・評価事業

1. 農地の状態診断プラットフォーム



2. 地域性微生物資源によるネギ苗の機能強化

